



「指導に生きる AAP(あかぎアドベンチャープログラム)セミナー」

実施報告

4月25日(土)から1泊2日の日程で、「指導に生きるAAP(あかぎアドベンチャープログラム)セミナー」を開催しました。参加者は、群馬県をはじめ関東各都県や新潟県、長野県などの学校関係者や社会教育に関わる方々28名が集まりました。

今回のセミナーは、AAP(あかぎアドベンチャープログラム)の手法を学校教育や青少年教育指導者がどのように活かしていくかを学ぶ目的で企画されました。

第1日目は、午前9時30分からの開講式より始まりました。今回のセミナーは、体験学習の理論について、講師からの講義後、実習とふりかえりの実体験をしながら学びました。この日は、あいにくの雨のため、室内で行われました。参加者が、輪になり、掌に隣の人が人差し指を乗せて「キャッチ」の合図で捕まえるアクティビティーやサイコロを使った「シロクマ君」を探すゲームなどを行い、グループへの意識や自分の気づきを高めました。エレメント(PA施設)を使わず日常生活にある素材を活かしたプログラムは、室内での指導の幅を広げるものとなりました。

第2日目は、前日に学習した体験学習の理論についてグループ毎にプレゼンテーションを行いました。時間内に準備をして発表しなければならない危機的状況をグループでいかに乗り越えるかというアドベンチャーに見立てた実習は、体験学習への理解の深まりとグループ力を高める時間となりました。

2日間をふりかえっての参加者からは、「すべてのアクティビティーが、メンバーを尊重する基本に構成されていることに気づき、大きな収穫だった」「一つ一つの活動に対して、多くの時間を使ってふりかえりを行い、他の参加者がどのようにとらえ、考え、感じながら行っていたのかがよく理解できた」「AAPの手法を学び、どのように現場に活かしていくかに重点が置かれていたので、指導者としての自信がついた」などの声が聞かれました。参加者の技術の向上と実践意欲を大いに高める企画事業となりました。

[第1日目 午前]



「キャッチ」

※グループの意識を高めます。



「ペン回し」

※学びのプロセスが生まれます。

[第1日目 午後]



「シロクマ君」

※わかった時の気持ち、
わかるまでの思考活動を導きます。



「ありさん大集合」

※言葉の情報だけでは、共有がはかれ
にくいことに気づきます。

[第1日目 夜]



「ズームリズーム」

※潜在的なものを顕在化し、
イメージができます。



「ヘリウムフープ」

※グループでの意識を集中させます。



「ビーイング」

※グループで自分が実践,行動できる
ことの共有をはかります。

【第2日目 午前】



「プレゼンテーションミーティング」

※課題解決そのものをアドベンチャーとし、
プレゼンテーションをします。



「ふりかえり」

※1枚の絵に「人格を尊重する」
ことを描きます。

【第2日目 午後】



「人間いす」

※信頼関係を形にします。



「最高の笑顔」

※充実しました。